

アンコ文化保存会 便り Vol.2

発行 アンコ文化保存会
代表 立島夕規乃
Tel.04992-2-7317
清水 Tel.2-1111

2016年3月号



アンコの歴史探索を 一緒にしませんか？

水が貴重であった昔の大島において、水汲みを始めとする労働で生活を支え、また三原山登山道に栄えた茶屋において、訪れる観光客をもてなし多くの旅人を魅了した古き良き時代の大島の女性・・・アンコ。戦前、戦後と時代の移り変わりと共にアンコの装いも変化していきました。

時代背景を探りながら、それぞれの時代に想いを馳せ、皆さんと一緒に学び、交流出来たら嬉しく思います。そして大切な大島の宝を後世に引継ぐことが出来たらと願います。アンコ文化保存会では、アンコの歴史が大島の貴重な地域資源となると考え、多くのエピソードを集めていきます。是非地域の皆さんからの写真などの資料、情報のご協力をお願いします。



上：昭和10年 下：昭和30年

大島の女性は働き者

仕事着＝継ぎっ着物（郷土服）が明治頃迄の生活の普段着で、丈夫で保湿性・吸収性に富み、仕立てや補修に手がかからない厚手木綿の対丈（ついじ）仕立て。次第に黒の盲縞（めくらじま）になり、大正初めになると紺飛白（こんがすり）が流行りました。



水汲みの仕事
水に恵まれなかった大島では水汲みが女性の大切な仕事でした。水桶が嫁入り道具でした。



（大正6年ころ）

この写真について教えてください

こんなにたくさんの人たちはどうして集まっているのでしょうか。そしていつ、どこでしょう？

